

鹿児島県 薩摩川内市 鹿島町
(下甕島)

鹿島診療所

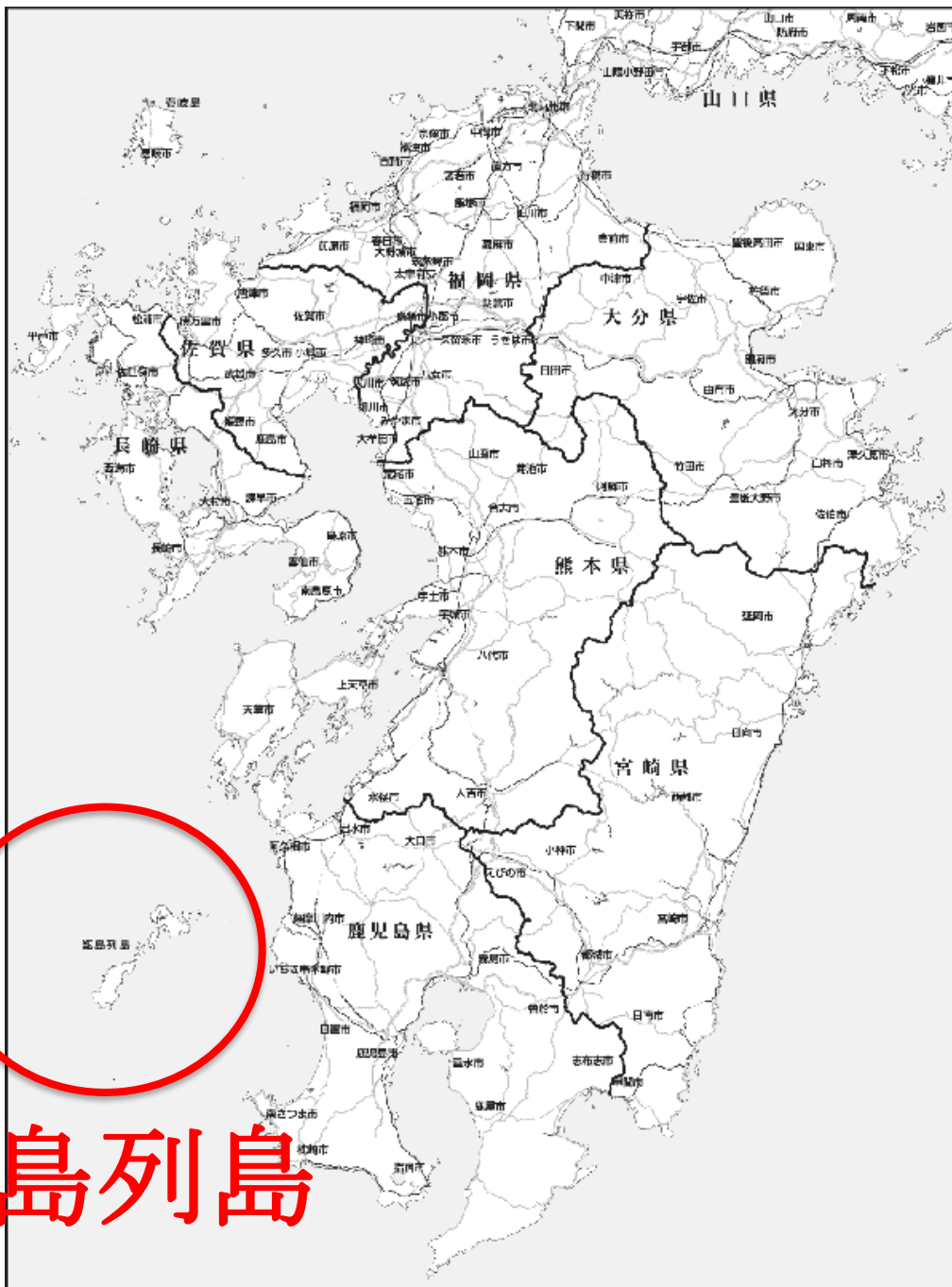


34期
須藤大輔

平成28年作成
現勤務先：県立薩南病院

地理

上から
上甕島
中甕島
下甕島



甕島列島

交通

高速船(川内港)
フェリー(串木野新港)



所要時間
1~2時間

上甕島 - 中甕島 橋でつながっている
中甕島 - 下甕島 現在架橋工事中

甌島の歴史

- ・ 甌島（こしきしま）の名は中甌島北部にある「甌」（蒸籠）の形をした巨石を甌大明神として崇拝したことに由来。
- ・ 約8000万年前の白亜紀の地層が残っており、日本で初めてケラトプスの化石が発見された。
- ・ 江戸時代には島津藩の直轄地となり、島津藩が採用した外城制の枠組みの中で地頭（領主）が派遣された。
- ・ 薩摩藩の南蛮貿易の中継基地にもなった。
- ・ 1871年（明治4年）に鹿児島県に所属

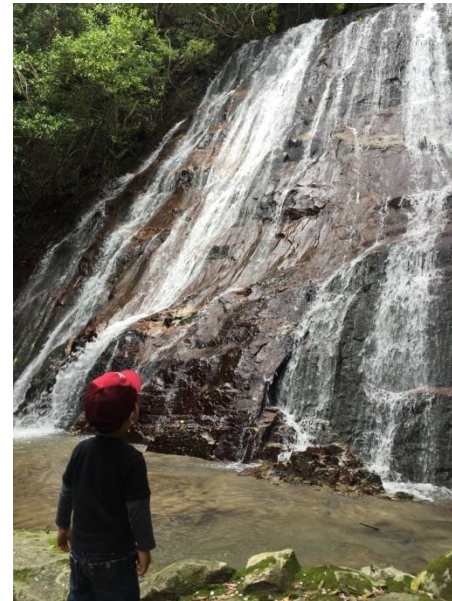
自然



ナポレオン岩
(Dr. コトーの
漫画でも登場)



キャンプ場



瀬尾観
音滝

文化



4月
お花祭り



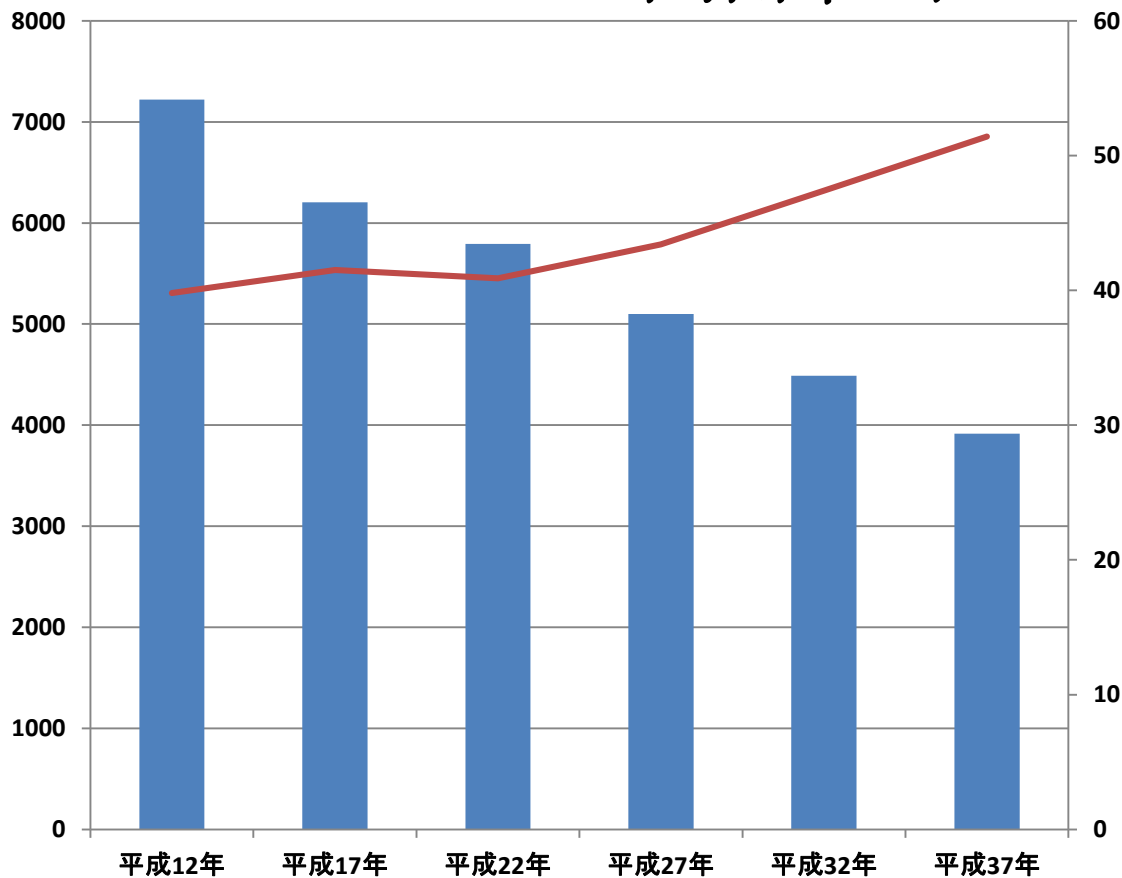
12月
トシドン
重要無形民俗文化
化財(国指定)



5月
ウミネコ祭り

人口

■ 甌島人口
— 高齢化率



鹿島町

人口(高齢化率)

H12 892人

H17 564人

H27 446人(50.3%)

医療

里診療所

上甕診療所

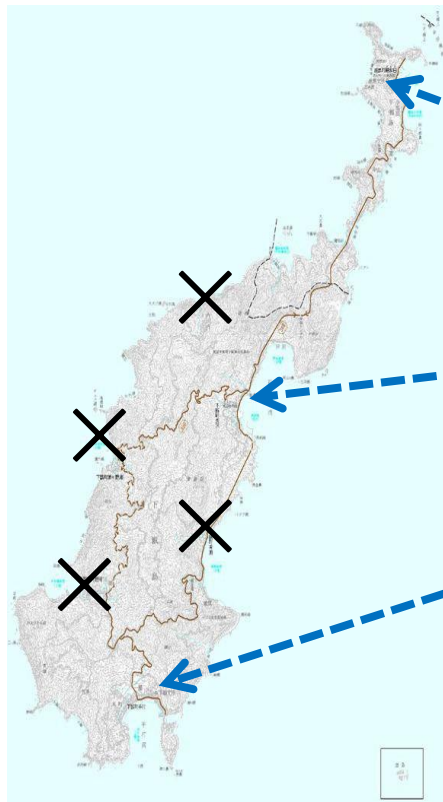
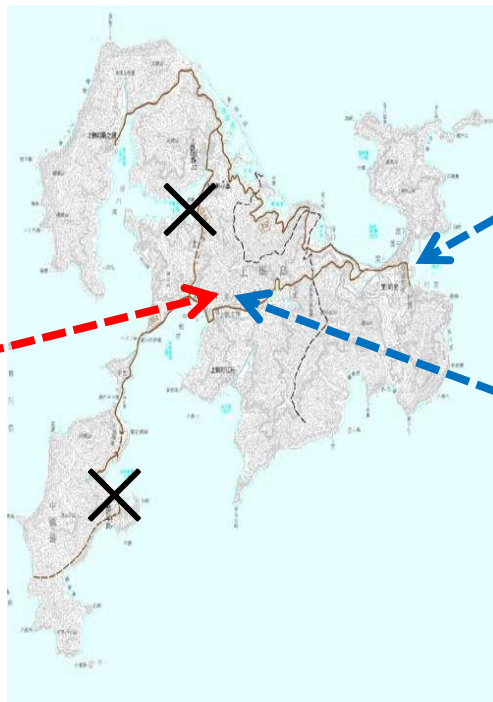
村永医院(民間)

鹿島診療所

長浜診療所

手打診療所

× 出張診療所(常勤医師不在)



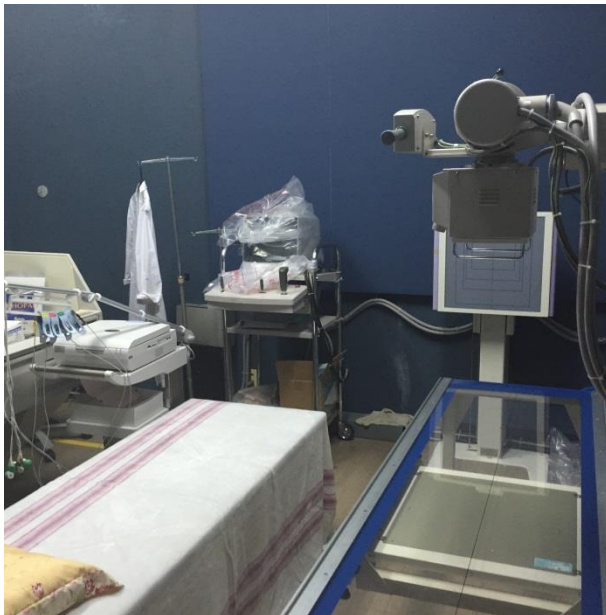
鹿島診療所

- ・昭和24年4月下甕村から分村し鹿島村となる。
- ・昭和36年3月鹿島村国民健康保険直営診療所設置。
- ・昭和36年3月～昭和56年6月までは村独自で医師を確保（計7人）してきたものの、医師確保が困難になってきたことから、医師の安定供給のため県側に自治医大卒医師の派遣を依頼する。
- ・平成16年10月合併により薩摩川内市鹿島町となり、名称も薩摩川内市鹿島診療所となる。

設備



腹部エコー
(H17年式、ノイズが大きい)



レントゲン室
・医師が撮影



現像室(暗室)
・医師が現像

設備



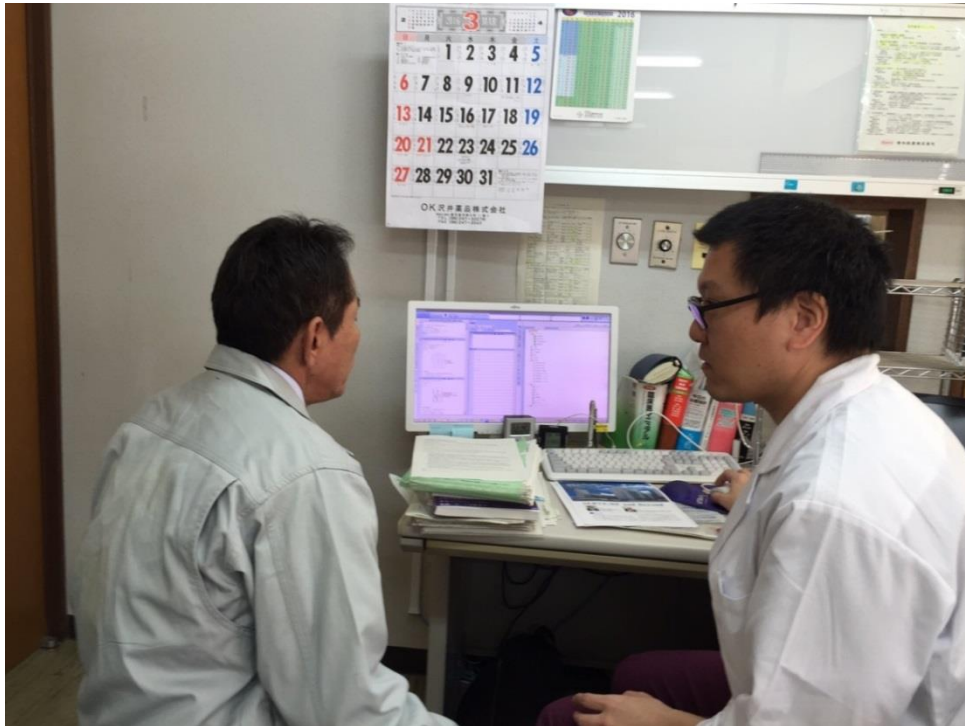
上部内視鏡 (H27購入)
・ 経鼻 ・ NBI機能



院内薬局

- ・ 内服薬 (130種)
- ・ 外用薬 (49種)
- ・ 漢方 (25種)
- ・ 注射薬 (28種)

診察風景



電子カルテ導入済み

- ・処方短時間化
- ・次医師への引き継ぎが容易(サマリー)



医科医師(1名) 看護師(3名) 事務(2名)
歯科医師(2名、鹿児島大学より隔週派遣)